

## 新泉・和泉地区小中一貫教育校基本設計業務の概要 (プロポーザル実施要領より抜粋)

杉並区教育委員会では、「杉並区立小中学校適正配置基本方針」(平成21年2月)を策定し、著しく小規模化が進んだ学校について、学校の適正規模を確保し、児童生徒に望ましい教育環境を提供するとともに、「杉並区小中一貫教育基本方針」(平成21年9月)を策定し、義務教育9年間での小中一貫した教育活動を全校で推進することとしました。

こうした状況の中、新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の3校は、平成17年度から小中一貫教育に先行して取り組んでいること、新泉小学校、和泉中学校で、児童・生徒数の減少が続いていることなどから、平成22年5月に「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画(新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合)」を策定し、施設一体型の小中一貫教育校を建設することとしました。

施設一体型の小中一貫教育校の設置は、杉並区において初めてであり、教育内容はもとより、施設整備においても異年齢の児童生徒が、それぞれの夢を実現するために必要な基盤となる力を伸ばすことができる空間づくりを目指すものです。

なお、杉並区の小中一貫教育は、学習指導要領に基づいた小学校6年間、中学校3年間のカリキュラムに基づいた教育を推進するものです。

### 1 教育内容にかかわる基本的な考え方

#### (1) 小中一貫教育校のコンセプト

学校、家庭、地域が力を合わせ、児童生徒の夢を実現するための力を伸ばす。

#### (2) 教育方針

ア 9年間を見通した一貫した指導を展開し、児童生徒一人ひとりの学力や体力を着実に向上させるとともに、豊かな人間性を育む。

イ 小中学校教員の相互理解や切磋琢磨、創意工夫を活かすとともに、各種調査や学校評価の検証に基づいた、教育活動、指導法等の工夫・改善を進める。

ウ 家庭、地域との連携、協力を一層深め、地域と協働した学校づくりを推進する。

#### (3) 指導の重点

ア 小中一貫したカリキュラムによる連続した学習指導の展開

イ 児童生徒のふれあいを中心とした豊かな人間性の育成

ウ 運動の日常化による体力の向上

エ 社会への貢献活動、地域との協働による教育活動の一層の充実

### 2 設計に関する基本的な考え方

(1) 区内初の小中一貫教育校として、これまで検討してきた小中一貫教育の内容を活かす設計とする。

- ( 2 ) 既存和泉中学校校舎を改修し、新校舎に接続する。なお、和泉中学校は、改修工事期間中他所へ移転する。また、和泉小学校は、建築工事施工中、既存和泉小学校を活用することを含め、建設予定敷地内での仮設計画を前提とする。
- ( 3 ) 特別支援学級を小中学校に設置する。
- ( 4 ) 学童クラブを敷地内に設置する。
- ( 5 ) エコスクール化とユニバーサルデザインに配慮する。

### 3 施設規模

- ( 1 ) 普通教室 30 教室（予備教室 3 教室含む）、特別支援学級 4 教室、その他付帯施設等
- ( 2 ) 延べ床面積 14,000 m<sup>2</sup>程度（改修校舎を含む。）
- ( 3 ) 概算工事費 約 26 億円（新校舎の改築経費のみ）

### 4 事業実施計画（予定）

- ( 1 ) 基本設計 平成 23 年 5 月～平成 23 年 9 月
- ( 2 ) 実施設計 平成 23 年 10 月～平成 24 年 6 月
- ( 3 ) 建設工事 平成 24 年 12 月～平成 27 年 3 月
- ( 4 ) 開 校 平成 27 年 4 月